

子育て講演会  
令和5年3月16日(木)

# 演題「小学校から見える乳幼児期」

参加者 5組(大人 5名 乳幼児 5名 計10名)

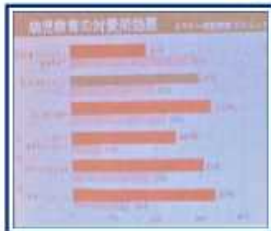
講師:佐賀女子短期大学 准教授 脇山 英靖 先生

怒っているように見えますか?

- ・怒っているように見えます
- ・笑っているように見えます

今日は、もの考え方

すべて幼稚園教育を受けた子は「赤」になります。  
テーターが示しています。  
宿題を出すのも、机が高いのも幼児教育を受けた子がこうなります。



これからしていくのは学校の先生ではありません。お母さん方です。



A+ロジック的な画用紙1枚で、すべてきな教育ができます。

何に見えます? 「美しい」「好き」



「愛している」と感じるのか、「憎らしい」と感じるのか

天使

「あくま」に見えるのか、「天使」に見えるのか



見え方で状態が違ってくる。これが毎日毎日変わるんです。



お子さんの土台はお母さんが握っている

ビデオ 入学当初は一番本を読まなかった子が上手に発表できた

お母さんと「サラダで元気」の音読を練習

- ・お母さんがユーモアがあって開き方が上手
- ・「わあ、そこがよかったね」など言ってくれる



この空気を子どもたちはたくさん吸います

ビデオ 4年生の男の子がなわとびで4回でひもが引っかかる

ふっつ、「どんくさいな」とか思う  
4回しか跳べないですもんね。お家でも練習させてください。  
そのうちできるようになるよ。がんばれ、がんばれ。等ではダメ。

- ・先生が大きな円の中で跳び練習をさせ、上手になってきたら、円の大きさを小さくしていく。
- ・お母さんが愛情をもって育ててきた

お母さんの明るい空気、明るい雰囲気などが伝染していく

お母さんが健康状態であることが大事

えんぴつの持たせ方 ... 非常に大事

えんぴつが正しく持てなければ、箸も持てない  
正しい持ち方に変えるだけで、手動域が変わる  
えんぴつの握らせ方1つで **一生が変わる**  
えんぴつの持ち方に、もう一本えんぴつを持って使うのが箸の持ち方  
箸を使える子は賢い



参加者からは「愛情をかけて穏やかに接していくのが大切だなあとおもいました。」「箸の持ち方とえんぴつの持ち方、早速やってみようと思います。親の吐く息にあんな意味があるなんて知りませんでした。とても勉強になりました。」「とても楽しく優しく、分かりやすく、ためになるお話。早速、お箸とえんぴつ、心がけていきます。あつと言う間の1時間でした。また、脇山先生のお話を聞きたいです。」「できないことに目がいきがちだったので、ハットさせられました。母としても教員としても勉強になりました。ありがとうございました。」など、とても好評でした。

わかる  
やれる  
かわる  
いきる  
できる



子育て「あいいうえお」  
「ありがとう」  
「いっしょにしよう」  
「うまいね」  
「えらいね」  
「おいで」

さすが  
しらなかった  
すごい  
せんせいに教えて!  
そうなんだ  
子どもの化学反応を  
楽しむ  
楽しむ

習  
力  
能

